

九州・ベトナム経済交流ミッション2025
開催報告書

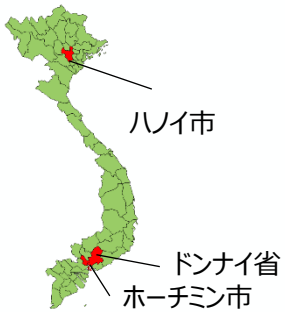
2025年3月

九州経済国際化推進機構（KEI）

九州・ベトナム経済交流ミッション2025の概要

- 九州経済国際化推進機構（事務局：(一社)九州経済連合会、九州経済産業局）は、九州ベトナム友好協会等と連携し、2009年からベトナム計画投資省との経済交流に関するMOUに基づき、原則隔年でベトナムにミッションを派遣（2023年3月以来2年ぶり8回目の派遣）。
- 「九州・ベトナム経済交流ミッション2025」は、ハノイ、ホーチミン等において、ベトナム政府機関への表敬を通じたネットワーク構築、九州の知名度向上に向けた「ジャパン・ベトナム・フェスティバル(JVF)2025」への出展。
- 日本との交流意欲の高いドンナイ省を訪問し、ベトナム地方都市とのネットワーク構築、ビジネスの可能性等について現地調査等を実施。

◇日程：2025年3月4日（火）～9日（日）（4泊6日）
◇訪問先：ハノイ市、ホーチミン市、ドンナイ省、ロンアン省
◇主催：九州経済国際化推進機構（事務局：九州経済産業局、九州経済連合会）、九州ベトナム友好協会
◇後援：在福岡ベトナム社会主義共和国総領事館、ジェトロ福岡、福岡貿易会、九州商工会議所連合会
◇訪問団：団　長：倉富　純男　九州経済国際化推進機構会長（九州経済連合会会長）
副団長：星野　裕志　九州ベトナム友好協会会長
顧　問：星野　光明　九州経済産業局長
ほか企業等33名



◇ミッションのテーマ

①九州のプロモーション

- ベトナム政府機関への表敬を通じたネットワーク構築。
- ホーチミンにおける最大級の日越交流イベントである「**ジャパン・ベトナム・フェスティバル(JVF)2025**」に**九州として初めて**ブースを出展し、九州の認知度向上のためのプロモーションを実施。

②ビジネス拡大

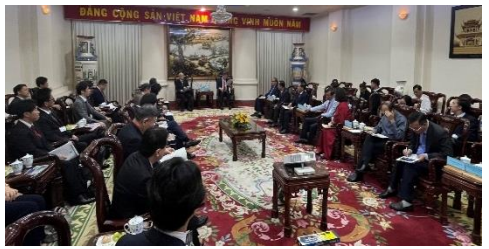
- 「**九州プロモーションセンター(K.P.C.)**（九州の魅力発信の拠点）（2023年3月、ハノイにグランドオープン）」を活用し、現地関係者を招き、食の輸出拡大や各分野における海外展開等に関する意見交換・相談事業を実施。
- ホーチミン及び近郊都市における都市開発プロジェクトを視察し、インフラビジネスの可能性について現地調査を実施。

③ベトナム地方都市とのネットワーク構築

- 日本との交流意欲の高いドンナイ省への訪問を通じたベトナム地方都市とのネットワーク構築（**初**）。
- 地方政府や工業団地組合等からの取組紹介、九州企業の進出・投資に向けた現地コーディネーターとの情報交流会等を実施（**初**）。


首相府表敬


ジャパン・ベトナム・フェスティバル



ドンナイ省表敬

九州・ベトナム経済交流ミッション2025　行程

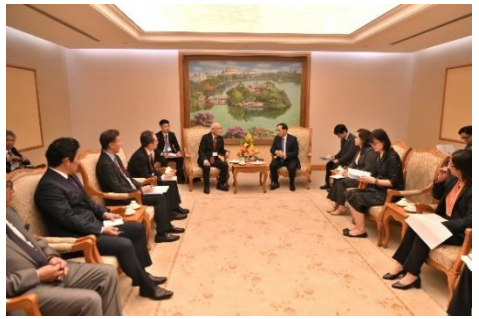
DAY1 3/4（火）	DAY 2 3/5（水）	DAY 3 3/6（木）	DAY 4 3/7（金）	DAY 5 3/8（土）	DAY 6 3/9（日）
9:55 FUK ↓ベトナム航空 （VN357） 12:55 HAN （昼食）機内	9:00 NIC （国家イノベーション・センター） 視察 9:00 農業環境省 （旧：農業農村開発省） 9:00 ～12:00 意見交換・相談会 （@K.P.C） 11:00 首相府 12:00 ～13:00 （昼食） うしのくら 13:30 ～15:00 ハノイ市内の市場、小売店舗視察等	9:30 ホーチミン人民委員会 表敬 9:30 ジェトロホーチミン事務所 ブリーフィング @ジェトロホーチミン事務所会議室 10:30 ホーチミン日本商工会議所プレゼン @ジェトロホーチミン事務所会議室 （昼食） ホーチミン市内レストラン 14:00 西鉄大規模開発プロジェクト「MIZUKI PARK」視察 16:15 在ホーチミン日本国総領事館 表敬 18:00 九州側主催レセプション （日越の関係者招待）	ドンナイ省へ移動 10:00 ドンナイ省人民委員会 （DPPC） 表敬 コーディネータグループ、ジャパンデスクからの説明、情報交換会 11:30 ドンナイ省工業団地管理組合（DCCH） 主催昼食会 13:00 AMATA工業団地 視察（松尾製菓） 15:30 ロンドウック 工業団地視察 16:30 ホーチミンへ移動 （夕食） ホーチミン市内 レストラン	9:30 第10回ジャパン・ベトナム・フェスティバル （JVF） 開会式、視察 （昼食） レストラン ロンアンへ移動 14:30 西鉄ウォーターポイント都市開発事業視察 17:00 ホーチミンへ移動 19:00 日系進出企業プレゼン・解団式 （夕食会） 22:00 空港へ移動 【現地企業、事務局等】 10:00 –20:00 第10回ジャパン・ベトナム・フェスティバル （JVF） （１日目）	0:45 SGN ↓ベトナム航空 （VN350） 7:35 FUK 【現地企業、事務局等】 10:00 –15:00 第10回ジャパン・ベトナム・フェスティバル （JVF） （２日目）
15:00 チェックイン 17:00~ 結団式 （@K.P.C） 18:30 在ベトナム日本国大使館 表敬 （大使公邸夕食会）	12:15 外務省主催昼食会 18:00 HAN ↓ベトナム航空 （VN259） 20:10 SGN （夕食）機内 （or各自空港） 21:30 チェックイン				
ハノイ泊	ホーチミン泊	ホーチミン泊	ホーチミン泊	機中泊	

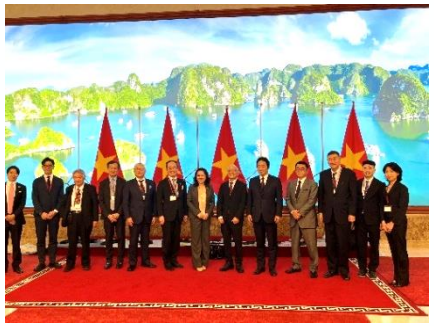
テーマ①九州のプロモーションについて

ベトナム政府機関表敬（首相府・農業環境省）

行事内容	首相府表敬
日時	3月5日（水）　11:00-11:30
場所	首相府
主な出席者	ブイ・タイン・ソン・副首相兼外務大臣

- 首相府において、ソン副首相兼外務大臣を表敬し、九州とベトナムの経済交流に関する意見交換を行うとともに、K.P.C.の利活用を通じたテストマーケティングの実施や、省庁再編後も九州経済国際化推進機構と旧計画投資省とのMOUの継続依頼を行った。
- 副首相からは、九州経済連合会がK.P.C.を設立してベトナムで交流を進めていることを歓迎するとともに、九州の各地方や企業がベトナム国内の相手先と連携や協力できる分野、形を探るようにベトナム外務省、ベトナム政府として緊密な連携を進めていく用意があるとの言及あり。MOUについても今回の省庁再編後も引き続き継続する意向はあると言及。





行事内容	農業環境省表敬
日時	3月5日（水）　9:00-10:00
場所	農業環境省
主な出席者	農業環境省　トゥアン国際協力局長

- ベトナム農業分野における日本への期待、今後の連携及び交流に関する意見交換を実施。九州側からは日本茶の栽培や和牛の育成など既にベトナムで進んでいる九州企業の具体的な事例を紹介。
- トゥアン局長からは農業分野での日本からのさらなる投資、ベトナム企業と九州企業とのマッチングの場の創出、同国実習生の受け入れを期待する発言などがあった。





テーマ①九州のプロモーションについて

ベトナム政府機関表敬（NIC ＊財政省所管）

行事内容	NIC（国家イノベーション・センター）視察　＊財政省所管
日時	3月5日（水）　09:00-10:00
場所	NIC（国家イノベーション・センター）
主な出席者	NIC（国家イノベーション・センター）　ホアイ副所長

- NICを訪問し、半導体やスタートアップ等、九州とベトナムの経済交流に関する意見交換を実施。
- ホアイ副所長から、「九州は日本の「シリコンアイランド」と聞いており、今後は九州とベトナムの協力が重要となる。半導体人材についてベトナムの人材を九州で育成するプランを描いている」と言及。また、今後、福岡への訪問についても前向きな発言があった。





ベトナム政府機関（外務省）との昼食懇談会

行事内容	外務省主催昼食会
日時	3月5日（火）　12:00-14:20
場所	ハノイ市内レストラン（Jade Moon Restaurant）
主な出席者	ヴー筆頭外務次官　ほか複数名

- ベトナム外務省主催昼食会にて、九州とベトナムの経済交流に関する意見交換を行った。





テーマ①九州のプロモーションについて

在ベトナム日本国大使館・在ホーチミン日本国総領事館表敬

行事内容	在ベトナム日本国大使館 表敬
日時	3月4日（火）　18:30-20:30
場所	在ベトナム日本国大使館　大使公邸サロン
主な出席者	在ベトナム日本国大使館　伊藤大使、石川次席公使、渡邊公使 参事官、平田一等書記官、松本一等書記官

- 在ベトナム日本国大使館　大使公邸サロンにて、伊藤大使を表敬し、大使主催夕食会にて、意見交換を行った。
- 伊藤大使からは九州の半導体分野等、今後の九州経済の発展に向けて、ベトナムとの連携を期待する旨の発言あり。





行事内容	在ホーチミン日本国総領事館表敬
日時	3月6日（木）　16:15-17:15
場所	在ホーチミン日本国総領事館　会議室
主な出席者	在ホーチミン日本国総領事館　小野総領事、森本領事

- 在ホーチミン日本国総領事館にて、小野総領事を表敬し、ジャパン・ベトナム・フェスティバルへの出展計画について報告を行うとともに、九州とベトナムの経済交流に関する意見交換を行った。





テーマ①九州のプロモーションについて

在ホーチミン関係機関とのネットワーク

行事内容	ジェトロ・ホーチミン事務所 訪問（ブリーフィング）
日時	3月6日（火）　9:30-11:30
場所	ジェトロ・ホーチミン事務所　会議室
主な出席者	ジェトロ・ホーチミン事務所　松本所長、 ホーチミン日本商工会議所　上田事務局長

- ジェトロ・ホーチミン事務所　松本所長よりベトナム経済の現状と日系企業の進出動向についてブリーフィングをいただくとともに、ホーチミン日本商工会議所上田事務局長よりホーチミン日本商工会議所の取組について紹介いただき、意見交換を行った。





行事内容	九州側主催レセプション
日時	3月6日（火）　18:00-20:00
場所	ニューワールドサイゴンホテル
主な出席者	在ホーチミン日本国総領事館　小野総領事、森本領事 ジェトロ・ホーチミン事務所　馬男木氏（福岡出身） ホーチミン日本商工会議所　上田事務局長　ほか

- 在ホーチミン日本国総領事館、ジェトロホーチミン事務所、ホーチミン日本商工会議所、西日本鉄道㈱海外開発事業部、LONG DUC INVESTMENT COMPANY LIMITED（双日ベトナム）など、在ホーチミンの関係機関を招待し、夕食懇談会を行った。





テーマ①九州のプロモーションについて

ジャパン・ベトナム・フェスティバル (JVF) での「九州ブース」出展

行事内容	ジャパン・ベトナム・フェスティバルでのブース出展
日時	3月8日（土）　9:30～10:00　開会式 10:00～18:00　ブース出展 3月9日（日）10:00～15:00　ブース出展
場所	9月23日公園（ホーチミン市中心部）
主な出席者	越）グエン・ヴァン・ドゥック　ホーチミン市人民委員長　他 日）橋本聖子参議院議員（JVF日本側実行委員長）他

- 今回で10回目を迎えるベトナム最大級の日越交流イベント。ホーチミンでの「九州」の知名度向上を目指して、今回初めて「九州ブース」を出店。九州の位置当てクイズや九州産日本茶の提供など、九州を広く市民に知ってもらう企画を実施。
- ２日間とも晴天に恵まれ、約45万人のホーチミン市民等が来場した。
- 1,440名もの来場者からアンケート回答を得て、くまモンのフォトスポット利用者も含めると2,000名超の来場者があり、広く九州を知ってもらうことにつながった。













テーマ②ビジネス拡大について

ビジネス相談会・市場視察

行事内容	ビジネス相談会
日時	3月4日（火）　8:50-11:50
場所	九州プロモーションセンター（K.P.C.）
主な出席者	ジェトロ・ハノイ 萩原ディレクター JICAベトナム 久我調査員、中田調査員 ヴー・ビン元在福岡ベトナム総領事　ほか

- ジェトロ、JICAからのベトナム現況のブリーフィングを受けた後、活発な意見交換、質疑応答が行われた。
- その後、ベトナム現地企業の代表者（３名）が各社のプレゼンテーション・PRを行い、名刺交換、質疑応答などの情報交換、ミッション参加者と個別の面談を行い今後の連携を探った。







行事内容	市場視察
日時	3月4日（火）　13:00-14:30
場所	ハノイ市内
主な出席者	ミッション参加団員

- ハノイの近代市場（モダンマーケット）のフジマート（日系スーパー）、伝統市場（ウェットマーケット）のホム市場での日本産品の状況など、現地の小売りの現場を視察した。







テーマ②ビジネス拡大について

インフラビジネス視察

行事内容	西鉄大規模開発プロジェクト「MIZUKI　PARK」視察
日時	3月6日（木）　14:00-15:00
場所	MIZUKI PARK (ホーチミン市ビンチャン区)
主な出席者	西日本鉄道㈱　海外開発事業部 春山次長*、西村係長*、辰巳様（*：ホーチミン駐在）

- ホーチミン市の通勤圏内に位置する大規模住宅開発プロジェクト。
- 既に売り出した住戸は95%以上完売を達成。現在最終フェーズ進行中。





行事内容	西鉄ウォーターポイント都市開発事業視察
日時	3月8日（土）　14:30-16:00
場所	ロンアン省ベンルック区（ホーチミン市郊外）
主な出席者	西日本鉄道㈱　海外開発事業部 春山次長*、西村係長*、辰巳様（*：ホーチミン駐在）

- バス事業のノウハウを活かし公共交通と一体となったまちづくりを目指す。
- 高級戸建て住宅や低所得者向け集合住宅など様々なタイプの住戸を整備。




テーマ②ビジネス拡大について

工業団地視察

行事内容	チロルチョコベトナム工場視察
日時	3月7日（金）　13:00-14:30
場所	ドンナイ省AMATA工業団地内
主な出席者	TIROL CHOCO VIETNAM CO.LTD　菅社長

- 福岡県田川市に本社を置く松尾製菓㈱のベトナム工場。2023年1月稼働開始。チロルチョコ定番味「ビス」「ミルク」「アーモンド」を生産。
- 菅社長よりチロルチョコベトナム工場の概要に関するブリーフィングを実施。その後、実際に工場内の製造現場の視察を行った。

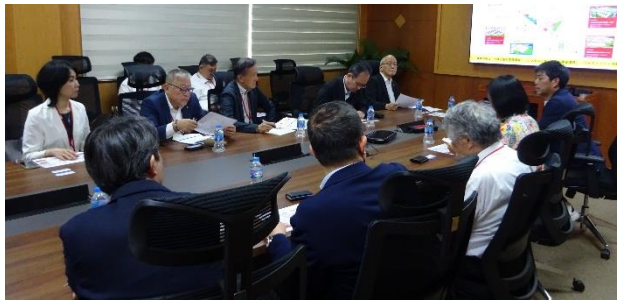




行事内容	ロンドウック工業団地視察
日時	3月7日（金）　15:30-16:30
場所	ドンナイ省ロンタン地区
主な出席者	LONG DUC INVESTMENT COMPANY LIMITED 石井社長、チャン副社長

- 総合商社「双日」が開発から手掛ける大規模工業団地。2013年竣工、2019年土地区画完売。現在はレンタル工場への企業誘致中。日系企業多数進出。
- ホーチミン市中心部から車で50分、深水港湾まで60分、来年末に開港予定の新国際空港へ20分などアクセス抜群で、通勤利便性や物流利便性が良好。









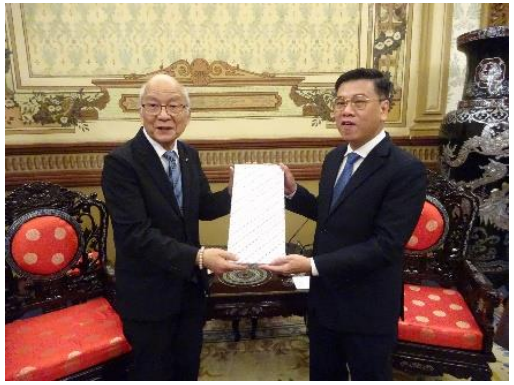
テーマ③ベトナム地方都市とのネットワーク構築について

ベトナム地方政府表敬（ホーチミン市・ドンナイ省）

行事内容	ホーチミン人民委員会表敬
日時	3月6日（木）　09:30 – 10:30
場所	ホーチミン市人民委員会庁舎
主な出席者	ホーチミン市人民委員会 グェン・ヴァン・ズン副委員長、同委員会各担当部局長など

- ズン副委員長より、特に貿易、投資、ビジネスなどの分野で九州とホーチミン市双方の協力を促進する準備ができているとの言及あり。
- 今回の訪問団の同市への表敬訪問を歓迎するとともに、今回の訪問が今後の双方の協力の機会のさらなる増加や関係強化に貢献するだろうとの発言あり。





行事内容	ドンナイ省人民委員会 表敬
日時	3月7日（金）　10:00-11:30
場所	ドンナイ省人民委員会　会議室
主な出席者	ドンナイ省人民委員会・ズオン・ミン・ズン副委員長

- 倉富団長から九州とベトナムとの経済交流の歴史、今回のミッションの目的の一つであるベトナム地方都市とのネットワーク構築について説明。
- ズン副委員長からは、近畿経済産業局と2013年から10年以上交流を継続し、礎を築いた「ジャパンデスク」について、今後ビジネス展開等を目指す九州企業の利活用の促進と、それを通じたドンナイ省への投資拡大を期待したい旨発言。





その他（ミッション参加者との交流）

行事内容	結団式
日時	3月4日（火）　17:00-18:00
場所	九州プロモーションセンター（K.P.C.）
主な出席者	倉富会長、星野局長、星野会長ほか

- 倉富会長、星野局長、星野会長の挨拶及びミッション参加者全員の自己紹介を行った。
- K.P.C.ハーセンター長によるK.P.C.プレゼンテーションを受けた。





行事内容	解団式（兼・日系進出企業プレゼン）
日時	3月8日（土）　19:00-21:45
場所	宇奈とと（ホーチミン市内）
主な出席者	（出店社）小林興業株式会社 小林社長 （出店支援社）G-Factory株式会社 業務推進事業部　松田部長

- 本店舗の出店社である小林社長よりベトナム出店のきっかけや苦労話等のプレゼンを実施。その後、解団式にてミッション参加者全員よりそれぞれ挨拶を行った。





まとめ

①九州のプロモーション

Ⅰ.首相府表敬

◆倉富団長から、以下の２つの事案について申し入れ。ブイ・タイン・ソン・副首相兼外務大臣から、何れも前向きな回答。

①ベトナム計画投資省と九州経済国際化推進機構との経済交流覚書（MOU）の継続

→省庁再編後の担当省庁「財政省」に対して滞ることがないよう指示する旨の発言（副首相の立場）

②ベトナム外務省とカミチクベトナムとの九州プロモーションセンター（K.P.C）賃貸契約

→本年11月に契約期限（５年）を迎える賃貸契約の更新を明言（外相の立場）

Ⅱ．農業環境省表敬

◆星野副団長をヘッドとしたメンバーにおいて、今後の九州とベトナムの農業分野に関する連携・交流に係る意見交換・九州企業等の事例紹介を実施。

トゥアン国際協力局長から、今後、ベトナムの農業分野に対して日本からの更なる投資を求めると共に、①ハイレベルな交流機会の継続、②企業と企業のマッチング機会創出、③実習生受入れ支援について期待したい旨発言。

Ⅲ．ジャパン・ベトナム・フェスティバル

◆九州として初のブースを実施出展し、九州プロモーションを展開。2,000人を超える方がブースに立ち寄り、会場内にて九州に関するアンケートを実施（有効回答1,440名）、九州の認知度は半数以下であったが、今回の取組を通じて、九州の知名度向上につながった。

②ビジネス拡大

Ⅰ.九州プロモーションセンター(K.P.C.)を活用した意見交換・相談事業

◆JETROハノイ、JICAによるブリーフィング、ベトナム現地企業の代表者との名刺交換、質疑応答などの情報交換、個別の面談を行い今後の連携を探った。

Ⅱ.都市開発プロジェクトおよび工業団地視察

◆ホーチミン及び近郊都市における都市開発プロジェクト及びドンナイ省の工業団地等を視察。インフラビジネスのポテンシャル、地方都市の成長の可能性を実感。

③ベトナム地方都市とのネットワーク構築

Ⅰ.ドンナイ省人民委員会 表敬

◆地方政府（ホーチミン市・ドンナイ省）への訪問を行い、ネットワークを構築。ドンナイ省からは今後、九州企業がドンナイ省へ進出・ビジネス展開等を目指す際には、「ジャパンデスク」の利活用等を通じた支援する旨の発言。